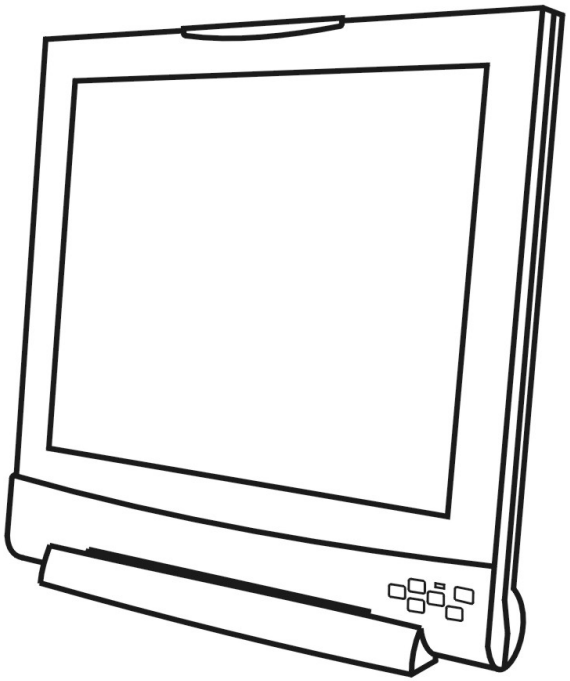


S-Series 17"/19" TFT LCD DISPLAY

neovo

目次

使用前の注意事項 2

インストール 2
電源の連接 2
メンテナンス 2
スクリーン運搬 2
傾斜機能 3
台座を折畳む制御ボタン 3

使用への入門 5

包装内容 5
制御ボタンの機能を説明 6
インストール 7
スクリーンの調整 8
OSD グループの使い方 8
ﾌﾞﾗｲﾄﾈｽとｺﾝﾄﾗｽﾄ (Brightness & Contrast) 8
水平と垂直位置 (Horizontal & Vertical Position) 8
鋭さ (Sharpness) 8
OSD 透明感 (Transparency OSD) 9
位相とクロック (Phase &Clock) 9
色温度 9
水平および垂直 OSD 位置(Horizontal & Vertical OSD Position) 9
ｸﾞﾗﾌｨｯｸとﾃｷｽﾄ(Graphic Text) 9
ﾘｺｰﾙ (Recall) 10
言語(Language) 10
自動入力設定(&I)の自動調整(Auto & Input Set Auto Adjustment) 10
終了(Exit) 10

警告信号とトラブル シュッディング 11

警告信号 11
トラブル シュッディング 12
製品規格 13

CANADA 14

FCC 承諾声明 14
TCO '95 15

インストール

- スクリーンの後ろのラジエーター口を遮らないでください。
- スクリーンは熱源に近寄らないでください。例えば、電熱器や送風導管などです。又、日に直接当たらないでください。埃が多すぎると機械性の振動を生じます。

電源の連接

- 適当な電圧の電源線を使って下さい。
- スクリーンに近いコンセントを使って下さい。
- どんな物でも電源線の上に置かないで下さい。
- 下記の状況で電源線を抜いてください。
  - 長い間、スクリーンを使わないこと。
  - ケーブルが破損、磨り破れること。
  - スクリーンが転落、或いは外殻が損傷すること。
  - 機能が大幅に低下するなら、修理が必要です。

メンテナンス

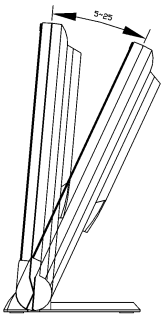
- 軟らかい布で少し温い洗剤をつけて外殻、ガラス、制御ボタンを拭きます。腐食性のある材料、溶剤、例えば、アルコールやベンゼン等を使わないこと。
- 鋭い或いは腐蝕性のある物で（例えば、鉛筆、ドライバー）、スクリーンの表面と摩擦、接触、或いはぶつかることをしないように。スクリーンを傷付けますから。
- スクリーンの後ろのラジエーター口に物を挿入、或いは液体を注入しないように。火事、感電、又は部品故障を生じる恐れがありますから。

スクリーン運搬

- メンテナンスを行う為に、スクリーンを運搬する時、元のダンボールや包装材料を使って、それを梱包してください。

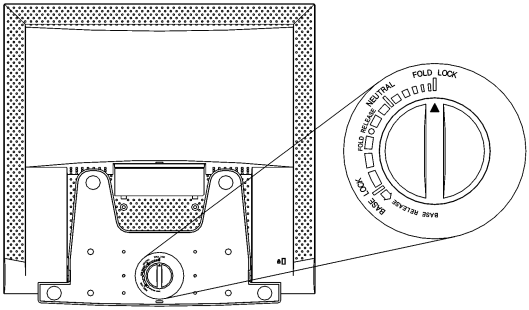
傾斜機能

- このスクリーンは 5°～25°の範囲内で傾斜角度を調整できます。両手でスクリーンのトップをしっかりと掴まえて、必要な角度に傾けます。



台座を折畳む制御ボタン

- このスクリーンは台座（シャーシー）を折り畳んで、本体と一体化することができます。折り畳んだ後、壁に掛けて、或いは旋回アーム（旋臂）と結合します。それに、出来るだけ運搬と収納の空間を減らしてください。
- その台座に折畳式制御ボタンが備わっています（特許申請中）。図のように、台座の折畳位置、開閉、スクリーンの傾斜度を制御できます。



基本上、この制御ボタンに Base Lock、Neutral、及び Fold Lock 三つの静止位置があります。その三つの静止位置にボタンを固定する時、その内部の仕組みで起こった作用は次のように説明します。

1. Base Lock—
   台座が完全に折り畳まれた時、その折り畳まれた位置に台座をセットします。長距離運搬の時に振動が原因で、台座が開かれるのを防ぐことが出来ます。

2. Neutral—
   Neutral の位置にそのボタンを固定される時、台座と本体の間開閉と折畳が出来ます。

3. Fold Lock—
   スクリーン主体を制御する傾斜角度は 25° を超えます。

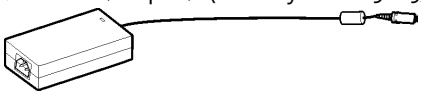
初めて包装箱を開けてスクリーンを取り出す時、そのボタンは Base Lock の位置にセットされています。台座を空ける時、ボタンをやや逆時計回りに Base Release の位置に回して、そしてそれを放せば、ボタンは自動的に時計回りに Neutral の位置に跳ね返ります。少し力を入れたら、台座を開けられます。スクリーンの傾斜角度は 25° より小さい時、ボタンは時計回りに Fold Lock の静止位置に跳ね返ったことが出来ます。

このスクリーンの最大傾斜角度は 25° です。25° に達する時、この制御装置には制限の働きがあって、もっと大きな角度に圧すことが出来ません。台座を折り畳む時、まず、ボタンをやや逆時計回りに回して、そして手で固定します。(もし、傾斜角度はもう極限にまで調整する時ボタンは更に回されることが出来ません。まず傾斜角度を 25° 以下に調整してから、また、ボタンを回せます。)それからスクリーン本体を下に押して、完全に折り畳ませます。そして、ボタンを逆時計回りに Base Lock の位置に回し、台座をしっかりと固定させますように。

包装内容

インストールをし始める時、段ボール箱に次のような項目が含まれるのをご確認ください。

- スクリーン
- アダプター（Adaptor）(Linearity LAD6019AB5, Li Shin LSE9901B1260)



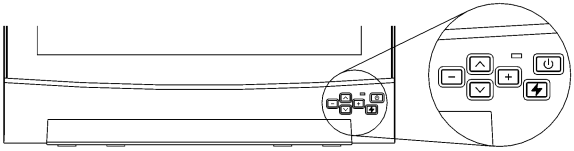
- 電源コード

- D-sub 15-pin VGA 信号線（*1）

- DVI-D デジタル信号線（*1）

- フロッピー/CD-ROM （Windows 情報ファイルと取扱説明書が入っております）

制御ボタンの機能を説明



正面図

電源スイッチ
電源スイッチを入れたり切ったりします。

○ LED 指示ランプ。
スクリーンの電源がついている時、指示ランプが緑色になり、省エネ状態の時、指示ランプがオレンジ色になります。

自動調整ボタン
自動調整機能は LCD パネルを自動的に最適のパフォーマンスに変えます。
解像度か周波数が変えてから初めて使用する場合は、自動調整機能を使用するようにお勧めします。
自動ボタンは OSD も閉じます。

上へのボタン
スクリーン上の機能表（OSD）を表示させます。
右から左へ、下から上へと移動して、該当項目を選ぶことが出来ます。

下へのボタン
スクリーン上の機能表（OSD）を表示させます。
左から右へ、上から下へと移動して、該当項目を選ぶことが出来ます。

数値を増やすボタン
数値を調整する時、機能を増やすことになります。

数値を減らすボタン
数値を調整する時、機能を減らすことになります。

インストール

コンピュータと接続（アナログ）—

1. スクリーンのすべての包装材を除去します。
2. スクリーンを適当な位置に置きます。スクリーンの周りに充分なスペースがあるかどうか確認してください。特に、後ろの区域です。
3. コンピュータを消して、VGA 信号線と接続します。付属しているスクリーン信号線を IBM／PC コンピュータとコンパティビリティ（互換性）のある 15 ピン VGA ポート（接続口）に繋げます。
4. スクリーン端にあるアダプターの電源プラグをスクリーン後方にある電源口に繋げます。
5. 電源コードをアダプターに繋げます。そして、コンセントに電源プラグを差し込みます。
6. コンピュータの電源をつけます。
7. スクリーンのスイッチを入れたら、その画像が現れます。もし、現れなかったら取扱説明書に書いてある「**警告信号と故障排除**」をご参照ください。
8. コンピュータの画素の数値は 1280X1024 ピクセルと 60Hz であることをご確認ください。AUTO ボタン を押したら、画像が自動的に最良化になります。

デジタル･インターフェースの接続（Digital, DVI）—

1. コンピュータのスイッチをオフにします。付属しているデジタル･インターフェースのスクリーン信号線の一端をスクリーン後方にある DVI デジタル接続口に繋げます。他の一端をコンピュータのデジタル表示カードの上に繋げて下さい
2. 他の手順は上記の第 4、5、6、7、8 項目と同じです。

スクリーンの調整

スクリーンの機能表示システム（OSD）は各種の自分で調整できるスクリーンのツールを提供します。

重要：自分で選択項目を任意に調整することが出来ます。しかし、「AUTO セット」のご使用を強くお勧め致します。スクリーンの機能が最良の状況に発揮できますから。AUTO ボタンを押したら AUTO セットが作動します。その他、毎回、コンピュータの画素の数値（ピクセル）や周波数を変えた後、その AUTO 機能を行うことをお勧め致します。

OSD グループの使い方

1. ^、v ボタンを押して OSD ウィンドウを呼び出します。
2. ^或いはvボタンを使って、サブ･コントロールの項目選択機能表の中で、セットしようとする項目を選んでください。
3. 選んだ後、^或いはvボタンを使って、下記のリストに書いてある各セット項目のセット数値を変更します。

ﾌﾞﾗｲﾄﾈｽとｺﾝﾄﾗｽﾄ (Brightness & Contrast) /

1. スクリーンの輝度と対比を調整する時、機能表で関係項目を選択してください。
2. +と−ボタンで 0～100 の間で、関係セット数値を調整してください。同時に、ウィンドーの底に調整された数値が現れることになります。

水平と垂直位置 (Horizontal & Vertical Position) /

1. スクリーンの表示位置の微調整を行う場合、機能表で関係項目を選択してください。
2. +と−ボタンで 0～100 の間で、関係セット数値を調整してください。同時に、ウィンドーの底に調整された数値が現れることになります。

鋭さ (Sharpness)

1. スクリーンの鋭さをセットするなら、機能表に在る Sharpness という項目を選択してください。

2. [+]と[−]ボタンを使って、好きな鋭さの数値をセットしてください。Softer-Sharper の間で三段式の選択をすることができます。

OSD 透明感 (Transparency OSD)

1. OSD ウィンドーの透明度を変更する場合、機能表に在る Transparency OSD（透明度 OSD）という項目を選択してください。
2. [+]と[−]ボタンを押して、オンとオフを切り換えます。

位相とクロック (Phase &Clock) /

1. コンピュータの信号の偏差を補う為に、画像機能の微調整を行う場合、機能表で関係項目を選択してください。
2. [+]と[−]ボタンで 0～100 の間で、関係セット数値を調整してください。同時に、ウィンドーの底に調整された数値が現れることになります。

色温度

1. 色温度を選択します。
2. 下に示すように、異なる目的に対しては異なる色温度を選択するようにお勧めします。

オプション	使用
9300K	一般的使用
6500K	色管理
USER（ユーザー）	ユーザーカラーの設定
Auto Color（自動カラー）	最適の ADC ゲイン値に自動調整。

3. [+]または[−]ボタンを押して、9300K、6500K、ユーザーまたは自動カラーを選択します。
4. 色温度メニューで USER（ユーザー）を選択すると、お好みに従ってまたは特定アプリケーションに従って、赤/緑/青画像設定を微調整できます。
5. [+]または[−]ボタンを押して、0 から 100 の間で値を調整します。

水平および垂直 OSD 位置(Horizontal & Vertical OSD Position) /

1. OSD ウィンドーを好きな位置に置く場合、機能表に在る OSD Position（OSD 位置）という項目を選択してください。
2. [+]と[−]ボタンを使って、機能表を適当な位置に移します。選択に、このスクリーンには九つの位置が内蔵されています。

ｸﾞﾗﾌｨｯｸとﾃｷｽﾄ(Graphic Text)

1. 文字や図形用途に対して、自動的に最適なスクリーンの明晰さを選択するなら、機能表に在る Mode Text/Graphic という項目を選択してください。
2. [+]と[−]ボタンを使って、ウィンドーの底にある TEXT と GRAPHIC に切り換えて下さい。

注意! ＬＣＤパネルが最適パフォーマンスを得られるように、解像度が 720x400 または 720x350 ピクセルの場合はテキストに、解像度が 640x350 または 640x400 ピクセルのときはグラフィックにモードを設定してください。

ﾘｺｰﾙ (Recall)

1. スクリーンにセットされたデータを出荷時の初期設定に戻すなら、機能表に在る Recall（標準に戻す）という項目を選択してください。
2. ＋と－ボタンを使って、ウィンドーの底にある YES と NO に切り換えて下さい。

言語(Language)

1. OSD に内蔵されている言語を選択する場合、機能表に在る Language（言語）という項目を選択してください。
2. ＋と－ボタンを使って、ウィンドーの底に現れる「内蔵言語」に切り換えて下さい。

自動入力設定(&I)の自動調整(Auto & Input Set Auto Adjustment)

1. 自動入力設定(&I)を選択します。
2. －ボタンを押すと自動調整、アナログ入力の使用、デジタル入力の使用を選択できます。
3. ＋ボタンを押して、選択した機能を操作します。

自動調整機能により、画面サイズやクロック、位相を調整して、最適の表示設定を得ることができます。このプロセスは、完了するまで 3 ~ 5 秒かかります。 **注意：**自動調整の後、画面がスクリーン境界のないパターンを受け取ったら、不正な位置またはサイズを表示することがあります。VGA 入力または DVI 入力が利用できるときは、アナログまたはデジタル入力ビデオを選択してください。

終了(Exit)

メニューから EXIT（終了）を選択すると、OSD メニューを終了します。

警告信号とトラブル シュッディング

警告信号

下記の信号がスクリーンに現れる場合	下記の項目を検査してください
NO SIGNAL INPUT (信号入力なし)	どんな入力接続口にでも入力信号を検出できない。 • コンピュータのスイッチや信号元は“オン”になるかを検査してください。 • 検査信号線は正確に接続するかを検査してください。 • 信号線の接続口にピンが曲がるか、或いは圧されるかをご確認ください。
NO VIDEO SIGNAL FROM ANALOG INPUT (ANALOG ANALOG ポートに何らの入力信号もない。)	ANALOG ポートに何らの入力信号も検出できない。 • コンピュータのスイッチは“オン”になるかを検査してください。 • D-Sub 15-pin 信号線はスクリーン後方にある ANALOG ポートに正確に接続するかを検査してください。 • D-Sub 15-pin 信号線は正確にコンピュータに接続するかを検査してください。 • D-Sub 15-pin のケーブルの接続口にピンが曲がるか、圧されるかをご確認ください。
NO VIDEO SIGNAL FROM DIGITAL INPUT (DIGITAL ポートに何ら入力信号もない)	DIGITAL ポートに何ら入力信号も検出できない • コンピュータのスイッチは“オン”になるかを検査してください。 • DVI 信号線はスクリーン後方にある DIGITAL ポートに正確に接続するかを検査してください。 • DVI 信号線は正確にコンピュータに接続するかを検査してください。 • DVI ケーブルの接続口にピンが曲がるか、圧されるかをご確認ください。

トラブル シュッディング

内容	検査項目
• 画像なし • LED 電源指示ランプがついていない。	• スクリーンのスイッチはオンになっているかを検査してください。 • 電源プラグは正確にスクリーンに差し込まれるかを検査してください。 • 電源コードは正確にコンセントに差し込まれるかを検査してください。 • 電源こーどは正確にコンセントに繋げるかを検査してください。 • コンセントには電流が付いているかを検査してください。他の装置でそれを検査してください。
• 無画像 • LED 電源指示ランプは橘色になる。	• コンピュータは省エネモードに入っていないかをご確認ください。マウスを移動して、或いはキーボードのキーを押したら、元の状態に戻れる • コンピュータ或いは画像元のスイッチはオンになっているかを検査してください。 • ビデオ信号のケーブルは正確に接続するかを検査してください。
• 文字は明晰でない。	• ビデオ信号の画素の数値は 1280X1024 ピクセルであることをご確認ください。 • 自動調整を行う為に⏻ボタンを押してください。 • OSD Display Adjust 機能表にある Clock と Phase に対する微調整を行って下さい。（詳細はこの取扱説明書の「スクリーンの調整」という節にご参照ください。） • 今の画素の数値は 1280X1024 ピクセルでない場合、OSD 機能表にある Sharpness（鋭さ）を調整してください。（詳細はこの取扱説明書の「スクリーンの調整」という節にご参照ください。）
• スクリーンの画像は真中に位置しない • ある線条が無くなった。	• 自動調整を行う為に⏻ボタンを押してください。 • 微調整を行う為に H. Position（水平位置）と V. Position（垂直位置）を調整して下さい。（詳細はこの取扱説明書の「スクリーンの調整」という節にご参照ください。）
• スクリーンに紅、緑、藍或いは黒の小さいドットが現れる。	• TFT LCD ディスプレーに百万個以上の小型トランジスターが含まれている。一つのトランジスターが壊れたら、紅、緑、或いは藍色の小さいドットを一個失うことになります。液晶ディスプレーの製造過程の中で、多少明るすぎたドット或いは壊れたドットが生じることがある。液晶ディスプレーに明るすぎたドット或いは壊れたドットの数は 3 個以下の場合、まだ世界市場で許容される規格である。

製品規格

		17”
ディスプレー	スクリーン・サイズ	17.0" (431.8mm)対角
	最高画素	1280 x 1024
入力信号	周波数	水平：30kHz - 80kHz, 垂直：49Hz - 75Hz
	最大画素クロック	135MHz
ポート	電源	3 ピン AC プラグ
傾斜	傾斜角度	5° - 25°
重量	正味	7.5Kg (16.5 lb)
電源	交流電	100 ~ 240V, 50~60Hz
	消耗率	< 50 ワット (オン), < 5 ワット (待ち) < 5 ワット (オフ)

		19”
ディスプレー	スクリーン・サイズ	19.0" (480.0mm)対角
	最高画素	1280 x 1024
入力信号	周波数	水平：30kHz - 80kHz, 垂直：49Hz - 75Hz
	最大画素クロック	135MHz
ポート	電源	3 ピン AC プラグ
傾斜	傾斜角度	5° - 25°
重量	正味	8.2 Kg (18.1 lb)
電源	交流電	100 ~ 240V, 50~60Hz
	消耗率	< 50 ワット (オン), < 5 ワット (待ち) < 5 ワット (オフ)

説明：製品の規格は実際出荷時の規格を基準に設定します。以上の規格に変動がある場合、改めて通知することがありませんので、ご了承ください。

CANADA

FCC Class B の基準に合ったこのデジタル設備はカナダの「Interference-Causing Equipment Regulation」に書いてある全ての要求に合致する。

FCC 承諾声明

この設備は FCC 第十五節の規則に合致する。操作手順は以下二項目のルールを遵守しなければならない。(1)この設備は他の設備に故障が生じるまでの受信妨害をもたらしてはならない。(2)この設備は掛かって来る如何なる受信妨害を受けなければならない。操作に予期せぬ故障が生じるという受信妨害も含む。
使用者へのお知らせ：
この設備は B 級デジタル設備の規制に合致する為のテストに合格した。それに、FCC 第十五節の規則を遵守する。この規制はご自宅でその設備をインストールする時、機器に故障をもたらす受信妨害を生ずるのを防ぐ為に、作られるルールである。それによって、（使用者に）合理的な保障を提供することができる。この設備は稼動する時に無線電波の周波を発することができるので、もし指示に従わないで、自分勝手にインストールしたり、操作したりするなら、、無線通信に受信妨害をもたらす可能性は極めて大きいのである。もっとも、その設備は特殊なインストールの中で、受信妨害を生じないという保証が有るという訳ではない。もし、この設備は既にラジオやテレビに受信妨害をもたらした場合、下記の方法でその妨害を排除してください。（受信妨害が生じるかどうか、一旦設備のスイッチを切ってまた入れたら、判明できるのである。）

- 改めて受信アンテナの方向や位置を調整する。
- 設備と受信機との距離を広げる。
- 設備に繋がるプラグと受信機に繋がるプラグとは同じ所から出ないようにする。
- 販売業者或いはラジオとテレビのベテラン技術者に問い合わせて、援助を求めてください。

注意：製造元工場の正式な許可を得ていないで、自分勝手にその設備を変更したり、改造したりすると、場合によっては、使用者がその設備を使用できない状態になる恐れがある。

TCO '95

おめでとうございます！
この度は、TCO'95 認証製品をご購入頂き誠にありがとうございます。この製品は、ユーザーの皆様へプロフェッショナル性を提供します。また、この製品購入は、環境責任への軽減、加えて、環境に対応した電気製品の開発という更なる製品の発展に寄与するでしょう。

なぜ私達が環境保護に対応したコンピュータを所有しているのでしょうか？
多くの国において、環境に対応しているラベルを発行する事は、環境に対する製品及びサービスの受け入れを促進する方法として成り立ってきています。コンピュータ及び他の電気製品に関する主要問題として挙げられる事は、環境破壊を導く要因が製品及び製造過程において発生している事があります。電気製品の多くが十分な方法によりリサイクルされる事が不可能である事から、これら環境汚染を引き起こす可能性の有る物質は、遅かれ早かれ自然に帰るであろう。
仕事（内側）及び自然（外側）環境の観点から見て重要な電力消費量レベルといったコンピュータの重要特徴もあります。従来の電気世代が、環境に対して否定的な結果（酸性雨や天候への影響、排気ガス、原子力廃棄物等）を導いてきた事から、エネルギーを保存することが人類に必要なことであると認識されてきています。オフィースで使用されている電気製品は、毎日継続的に使用されている事から非常に大量のエネルギーを消費しています。

環境ラベルには何が含まれますか？
この製品は、パーソナルコンピュータの国際及び環境認定差ベルとして提供されている TCO'95 設計の規格を満たす設計が成されています。ラベルの設計は、TCO（The Swedish Confederation of Professional Employees）、Naturskyddsforeningen (The Swedish Society for Nature Conservation) 及び NUTEK (The National Board for Industrial and Technical Development in Sweden)の協力により開発されました。
製品規格要求は、幅広い要求が含まれています。：環境、生物工学、使用性、電気及び電力分野の放射物、エネルギー消費、電力及び火力の安全性。
環境的需要は、重鉄鋼の生産及び使用の禁止、塩酸等臭化難燃剤、CFC（フレオンガス）及び塩素処理溶剤、その他の物質の使用禁止が考えられる。製品は、リサイクル対応が準備されなければならないし、生産側は、企業がオペレーションポリシーの手段として各国で固守する環境対応計画を持つ事が不可欠となります。
このエネルギー要求には、有る一定期間における放射線の無し、消費電力の更なる低下といったコンピュータ及び、或いはディスプレイへの要求が含まれます。コンピュータの再開に対する時間の長さは、ユーザーに対しても適切なものであるべきです。
レベル認証済製品は、例えば、電気・電子分野の軽減検査、物体及びビジュアル人間工学、優れた使用性といった厳しい環境要求に合格する必要があります。
このフォルダーの後部に、この製品による環境要求対応項目に関する簡単なまとめ情報が掲載されています。完全な環境対応資料の要求は、下記のところまでお願いします。

TCO Development Unit
S-114 94 Stockholm, Sweden
Fax: +46 8 782 92 07
Email (Internet): development@tco.se
TCO'95 認証製品に関する最新情報に関しては、下記の URL よりインターネットを通じて入手する事ができます。http://www.tco-info.com/
TCO'95 は、**TCO** (The Swedish Confederation of Professional Employees)、**Naturskyddsforeningen** (The Swedish Society for Nature Conservation)、及び、**NUTEK**

(The National Board for Industrial and Technical Development in Sweden)による協力プロジェクトです。

環境対応要求

臭化難燃剤
臭化難燃剤は、プリント回路基板、ケーブル、ワイヤー、ケース、ホース等に代表されます。事実、これらの製品は、火の周りを遅らせます。コンピュータケースに使用されているプラスチックの 30%は、臭化難燃剤により構成されています。環境強壮剤、汚染物質を食べた魚を動物が食し、それを人間がというように悪循環がサイクルとなっている現象を含む同様の影響を与えると考えられている PCB といった他のグループにも関連しています。難熱剤は、人の血液から発見され、研究者は、胎児の発育に関する障害に恐れを感じています。
TCO'95 規格には、プラスチック製品の 25g を超える重量に、有機体範囲の塩酸や臭化物体が含まれていない事が厳しく要求されます。

鉛**
鉛は、ピクチャーチューブ、ディスプレイスクリーン、はんだ及びコンデンサーに含まれます。鉛は、多数のシステムにダメージを及ぼし、高い毒素を持ち、鉛汚染の原因にもなります。TCO'95 規格規制では、鉛にとって変わる製品がいまだ開発されていないという事もあり、鉛の混合を認めています。
カドミウム**
カドミウムは、充電用バッテリー電池及び特定のコンピュータディスプレイにおけるカラー生成レイヤーに代表されます。カドミウムは、多数のシステム及び高い放射線量という毒性を持っています。TCO'95 は規格では、バッテリー電池は、25ppm を超えない量のカドミウムを使用する事が義務つけられています。ディスプレイスクリーンにおけるカラー生成レイヤーに関しては、カドミウムの混合を禁止しています。

水銀[1]**
水銀は、しばしばバッテリー、レイヤー及びスイッチに見られます。水銀は、複数システム及び高い放射線量毒性を持ち、ダメージを与えます。TCO'95 規格 d えは、バッテリーには 25ppm 以上の水銀混合を禁止しています。また、ディスプレイユニットにおける電子・電気製品への水銀使用も禁止しています。

CFCs (フレオン)
CFCs (フレオン) は、しばしばプリント回線基板の洗浄、パッケージの梱包用材の作成に使用されます。CFCs は、オゾンを破壊する為、大気圏内のオゾン層を破壊し、有害な紫外線の原因となるため、人体への皮膚がん感染比率を高める原因となります。
関連 TCO'95 規格：CFCs あるいは HCFCs は、製品の製造過程及びパッキング過程において使用しないようにする事。

**生物累積の定義：生きた生物の体内に累積した物質である。*
***鉛とカドミウムは共に生物累積を生じさせる重金属である。*